

- 知能と幸福のパラドックス
  - 主人公 チャーリイ・ゴードン
    - 知的障がいを持つ
    - 32歳、IQ 70
  - 生きづらさ
    - 周囲からからかわれる
    - 家族との確執など
  - 障がい克服
    - 人間関係の複雑さや社会の冷酷さを理解
    - 孤独を深めていく
- 感情と知性の不均衡
  - 知能が飛躍的に向上
    - 感情の発達は追いつかず
    - ⇒ 不均衡に苦しむ
  - 苦しみの先を予感
    - ネズミのアルジャーノンの変化
    - 異変から原因を究明
    - 自分も同じ運命をたどると悟る
- 進化する「ぼく」の視点
  - 本作の特徴 — 一人称視点
  - 物語
    - 誤字が多く幼い文章で始まる
    - 知能の向上につれて文章は洗練
    - ⇒ チャーリイの内面の変化を直接体験

